

「ゆかりの人物資料室」を

組合事務所へ設置

— 太宰治の等身大パネルなど展示 —

ACTIVE KUMIAI

湯村温泉旅館協同組合の組合員や湯村温泉郷周辺の関係団体などをつくる「湯村温泉郷魅力づくり協議会」(浅川貴会長・同組合理事長)は、湯村温泉郷の活性化を図るため、湯村温泉郷のゆかりのある人物や魅力などを発信する「湯村温泉郷ゆかりの人物資料室」を昨年12月に開設した。5ヶ月が経過し、観光客だけでなく県内からの観覧者も増えてきている。

湯村温泉旅館協同組合



当時の街並みを背景に等身大の太宰治



資料室内の展示

同温泉郷は、太宰治が滞在して執筆活動をした「旅館明治」や井伏鱒二が定宿とした「常磐ホテル」があり、観光客などへもっと温泉郷の歴史的魅力をPRするための拠点づくりとして資料室を設けたもので、同組合の事務所に併設された約25平方メートルのスペースに、昭和10年代の一期、同温泉郷に滞在した小説家、太宰に関する資料が展示されている。

また、数十年前の同温泉郷の「常磐ホテル」や「塩沢寺」と太宰の写真を使った3D額(立体額)なども展示され、昭和戦前の甲府市中心街の町並みを背景に立つ、太宰の等身大パネルと記念撮影もできるなど、当時の湯

村界限、甲府界限を舞台にした内容で企画されている。その他、資料室では、同温泉郷の温泉情報、散策するためのフットパスガイドブックなどが用意され、一休みしながら無料で自由にお茶を飲むことができる。

今後は、小説家の井伏鱒二、松本清張といった湯村にゆかりのある人物の資料も展示していく予定。

観覧は無料。日曜を除く午前10時〜午後5時まで。

●お問い合わせは…湯村温泉協同組合

電話0555(252)2261